

林業安否確認・作業管理システム

安否確認システム は、林業の作業現場で事故が発生した際に、自動で周囲に通知するシステムです。

事故を早期に発見できるようになり、安全性の向上に繋がります。

作業管理システム は、現地にて簡単な操作で作業記録の入力や画像の撮影が出来るシステムです。

作業記録を見える化する事により、各工程の作業量や待ち時間の把握が可能となります。

特徴

- ①作業員の救命が必要な状況に陥った事を自動で判断し、警報を鳴らして周囲に通知します。
- ②救命要請が発生すれば、メールで管理者に通知します。
- ③スマートフォンの簡単な操作にて、作業記録や画像の撮影が可能です。
- ④作業記録は事務所のパソコン端末から適宜に参照可能です。
- ⑤作業記録から出役簿等が自動で作成できるため、労務管理の効率化を図れます。

自動救命通知の流れ



作業記録の流れ

- ①作業開始前に
作業端末で作業内容を入力



※携帯電話圏外でも入力可能

- ②作業が終了すれば、
作業端末で作業終了を入力



- ③作業記録は自動的にクラウド
サーバーに保存される



- ④作業記録を本所の端末から参照する

- ⑤労務管理に必要なデータを出力する事も可能



■お問い合わせ／パシフィックソフトウェア開発株式会社

〒780-0945 高知県高知市本宮町105番地22

TEL 088-850-0503（技術部直通） 088-850-0501（代表） FAX 088-850-0571

担当：斉藤 saitoh@pacificsoftware.co.jp <http://www.pacificsoftware.co.jp>

